

Title	エンターテインメント事業へのライフスタイル細分化アプローチ - ライフスタイルと世代効果 -
Sub Title	
Author	望月明一 (Mochizuki, Akiichi) 和田充夫
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1994
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1994年度経営学 第1128号 複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001994-1128">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001994-1128</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名

望月 明一

主査 和田 充夫

副査 嶋口 充輝

池尾 恭一

所属

和田 充夫 研究室

## エンターテインメント事業へのライフスタイル細分化アプローチ ーライフスタイルと世代効果ー

本研究は、バブル経済期に乱立したテーマパークに代表されるような遊園地・レジャーランドの経営が曲がり角に来ている中、集客に成功している施設と、そうでない施設があるのはなぜか、と言う問題意識に基づいている。ここでは、遊園地・レジャーランドをエンターテインメント事業のひとつとして位置付け、今後どのような戦略をとるべきかと言う点についてライフスタイル、世代による市場細分化戦略といった視点から考察してゆくことを目的としている。

ライフスタイルを規定する要因は世代、年齢、ライフステージであるという観点に立ち、人々のエンターテインメント・ニーズとしては、知的好奇心ニーズ、コミュニケーション・ニーズ、喜怒哀楽ニーズ、緊張からの開放ニーズを設定した上で、ライフスタイルと人々のエンターテインメント・ニーズがどのように関係しているのか、また、エンターテインメント・ニーズが人々のエンターテインメント手段の選択にあたってどのような影響を与えているのかということについて仮説を構築し、検証を行なった。

調査の結果、世代、ライフスタイルによって、エンターテインメント・ニーズの高低と、エンターテインメント手段を選択する度合いが異なることが分かった。また、世代、ライフスタイルによって、選択するエンターテインメント手段が異なることも分かった。

最後に、世代とライフスタイルによって細分化された市場において、エンターテインメント事業としての遊園地・レジャーランドが今後どのような戦略をとって行くべきかということについて、エンターテインメント手段ミックスを中心にして、遊園地・レジャーランドの進化ということも念頭に置いて提言を行なった。